

COC センターの活動から

薬学部学生への一次救命救急の早期体験教育
薬学部 6年 江部 綾華

AHA-BLS ヘルスケアプロバイダー講習会で学んだ知識と技術を生かし、BLS 修了者として薬学部 2 年生に一次救命技術を指導した。地域医療において、一次救命処置技術を修了した医療従事者は、病院はもちろんであるが、薬局、介護施設や災害時など様々な緊急時において今後も活躍が期待できる。



指導イメージ

地域での健康啓発活動

薬学部 6年 杉山 純一



COC 事業の一環として静岡市内各地で一般市民を対象とした健康度測定会を開催し、地域住民の健康長寿への啓発活動を行った。学生の中心的な立場として積極的に参加し、地域住民の健康啓発に努めた。本活動はこれまで継続的に実施しており、大学と地域の交流の場として、地域住民から高い評価を頂いている。

地元高校生への防災教育

薬学部 6年 杉山 優雅



「静岡救命連携演習」など授業で学んだ知識を生かし、自身が司会進行・運営を務め、藤枝東高校の生徒に対し災害時のシミュレーションゲームを指導した。参加した高校生からは、地震への備えの重要性を改めて感じた、などの声が聞かれ、今後も活躍が期待できる。



静岡市における食育推進事業に関する活動 食品栄養科学部 4年 土本 明

静岡市の若い世代が主体的に取り組む食育事業に積極的に取り組んだ。ワークショップでの意見提案、「健康貯金スタートブック」の作成と高校生への贈呈式で、朝食の重要性を伝えた。また、「学生による地域志向研究・地域貢献プロジェクト成果発表会」で「地域みらい研究賞」を受賞するなど、管理栄養士の専門教育で学んだ知識・スキル・コミュニケーション能力を地域貢献活動に発揮した。

研究室(ゼミ)の活動から

「みなくる」等における地域貢献活動
経営情報学部 4年 大庭 帆月季



静岡市地域福祉共生センター「みなくる」のモデリング的な新たな活用を提案するため、現状の課題を明らかにした。また、地域コラボプロジェクトの代表として COC 事業と連携し、地域の事業への参加や企画運営を行った。

サークルボランティアの活動から

個店に対するコンサルティング活動
経営情報学部 4年 浅岡 航平



岩崎ゼミのゼミ長として、「大学生によるお店コンサルティング(通称 大コン事業)」、「アグリビジネスコンサルティング(ABC 事業)」など、地域との連携活動に積極的にかかわり、地域経済の活性化に貢献した。静岡市長からは、商業の魅力向上に寄与したとして、感謝状を贈呈された。大コン事業では、丁子屋と連携し、ヒット商品「丁子屋焼き」を開発した。

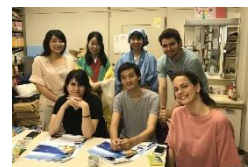
国内外でのコミュニティガーデンの研究
国際関係学部 3年 鈴木 杏佳



コミュニティガーデンについて、オーストラリアやイギリスでの先進事例を研究し、その研究を基礎として大学で実装を行った。研究と地域コミュニティとの実践を通して静岡市の健康長寿や多文化社会の構築に貢献し、令和元年度学生による地域志向研究・地域貢献プロジェクト成果報告会「地域みらい研究賞」を含む3賞を受賞した。

「羽衣つたえ隊」代表としての能「羽衣」の普及活動
国際関係学部 4年 羽場崎 彩香

小学校や観光施設等で絵本朗読による能「羽衣」の普及活動を行った。東南アジア 11ヶ国の高校生 132 名を招待して実施した「JENESYS2019 交流会～地域における伝承の役割～」(2019 年 9 月)では学生代表を務めた。



防災ボランティアクラブ防'zとしての防災啓発活動
看護学部 4年 片山 奈津

地域における防災に関する知識の普及を目的に、静岡県立大学草薙キャンパスで開催した防災スクール in 県大 2019、地域住民を対象にした災害に関するセミナーで企画・運営の中心的な役割を果たした。防災ボランティアクラブ防'zの活動は、地域住民から信頼され、高く評価されている。



保健福祉センターでのボランティア活動
看護学部 4年 山本 真里亜

南部保健福祉センターで月に 1 回開催される「子育てママ教室」において、託児ボランティアを主体的に行った。また、保健福祉センターでの健康まつりに学生ボランティアとして参加し、地域住民の皆様の健康支援に携わった。

